

右、劔璽將取御劔授内侍、次下御、大將發警蹕、諸將應之、關白候御裾、同將取璽授内侍、開葦戸退下、次鈴奏、如出御之時、若入夜者有名謁事、次入御、其儀經寢殿東廂、入御常御所、關白候御簾、次諸公卿退

下、次改御殿御裝束、撤御輿、寄廂階間供平敷御座、纏綱端疊二帖、東西其上敷錦茵、階以西簀子、敷纏

綱端疊一帖、東西爲主人御座、階以東敷圓座、爲若公御座、并諸卿座、北面上次出御、關白候御簾、次主人

御著座、次若公御著座、次諸卿著座、此間居主人御衝重、公卿役御陪膳、役送四位殿上人、次若公御衝

重、并諸卿衝重同居之、若公御前藏人頭、關白前五位藏人、自餘殿上五位六位役之、次供晴御膳、懸盤六脚

上首公卿勤仕陪膳、役送參議藏人頭、人數不足之時、再反役之先陪膳敷折敷、次第供御膳、次參議持參御酒盃、銀

給、次盛御酒、次主上目若公給、若公起座、御前敬屈候、主上飲御畢、而又盛酒賜若公、若公指笏、或御懷中賜

御盃、此間御扨人返、銚子於本役人復座、次若公取御盃復座、召男共藏人頭參進、被仰土器可持參之

由、藏人頭持參土器、不居折敷若公取之、移入御酒、返賜銀器於藏人頭、藏人頭取之退下、次若公飲御畢、置

土器於座前、取笏給、先是諸卿起座下殿、次若公揖降、自南階向御所方舞踏、御拜畢、昇自中門、切妻著

御本座、次五位職事取瓶子持參、若公取本土器入之、盛酒擬下膳人、次第巡流、於御前不取、續扨五位職事退

下、次入御、關白候御簾、諸卿平伏、次主人入御、次若公入御、諸卿自下膳退下、略

〔北山殿行幸記〕行幸○後小松は、應永十五年やよひの初の八日なり、○中行幸の御道の程滯りて、暮か

かる程にならせつかせ給、○中さても此度の行幸には、かして所をばぐし申されず、都の外には

わたらせ給はぬ事にてあるとかや、さりながら若御逗留の日數も久しくなり侍らば、さのみ御

留守におき申されん事もいかゞとおぼしたり、○中こよひは入御の後、うちく一こん有て、色

々の御割子どもをまゐらせらる、九日、けふは雨ふりて舞御覽ものびたれば、何事もなく、うち

うち一こんまゐりて、玄めやかなる御あそびばかりなり、十日、けふこそ空もはれたれども、舞

御あそびばかりなり、十日、けふこそ空もはれたれども、舞